

春の叙勲 喜びの受章

# 平田公佐氏に旭日双光章



平田公佐氏

4月29日付けで春の叙勲受章者が内閣府から発表され、前神崎町議会議員の平田公佐氏（大貫）が旭日双光章を受章されました。

平田氏は、昭和30年8月に28歳という若さで神崎町議会議員に初当選して以来、これまで12期47年6ヶ月間神崎町議会議員として在職し、昭和30年4月に旧神崎町と米澤村が合併して神崎町が誕生してから今日まで、神崎町52年の歴史とともに歩まれ、神崎町の発展に多大な尽力をされました。特に昭和46年8月から8年間及び平成7年8月から4年間、通算で12年間神崎町議会議長として、その強い指導力と高邁な政治信念をもってリーダーシップを発揮するとともに、地方自治の発展に多大の貢献をされました。また、監査委員、農業委員会委員、さらに総合開発審議会委員等も歴任し、広域的な見識と豊富な経験を生かし、行政全般にわたって各方面から町の政策にかかわり、町の事業執行に関して円滑なる事業の推進に努めてきました。50年近くにわたり地方自治振興の功績により、叙勲の名譽に輝きました。受章おめでとございます。

# 松崎地先に町の新たな活性化の

## 拠点創りを目指して!!

### 圏央道（仮称）神崎IC周辺地域整備事業及び道の駅基本計画策定

計画では、「利根川」という貴重な地域資源を活かした「道と水辺の出逢う町」にふさわしい、そして神崎の風土と歴史に育まれた「発酵の技」を活用した、インターチェンジ直結の広域交流型健康創造施設の整備を目指すとしていきます。

先行して整備を進める道の駅施設は、総工費約6億円、駐車場を含めた施設全体の面



積約2ha、駐車収容台数100台を計画しています。

道の駅建物は、床面積約1500㎡の鉄骨造の平屋建てで、神崎町で採れた新鮮で安全・安心な農産物等を販売する約90坪の直売所と、それらを調理し提供する約70坪のレストランを主体に計画しています。

そのほか施設には、「道の駅」に必要な、道路利用者や

地域の方々が、24時間利用できるトイレや、神崎町の案内や北総地域のイベント情報等を提供するインフォメーションセンターを備え、活力ある地域づくりを行うため、各種のイベントを開催する広場が整備されます。

今後はこの基本計画を基に、関係者の更なる協議を踏まえて、計画実現に向けた継続的な取組みを行う予定です。「基本計画」については、まちづくり課で閲覧を行います。

お問い合わせ まちづくり課 ☎ 2114（直通）

### インターチェンジ周辺整備の基本方針

- ① 圏央道を活用した広域からも集客できる特徴ある施設づくり  
神崎の地域資源を活用し、広域集客性の高い施設で神崎のイメージアップを図る。
- ② 地域と連携し、幅広い人々が気軽に利用できる多彩なサービスの展開  
幅広い人々の来町を促進する多機能な施設誘致を図り、交流人口の増加を図る。
- ③ 町を活性化させる観光的魅力を持つ、新しい集客交流産業の創造  
商業・サービス機能を充実し、新たな産業育成による賑わい交流拠点を形成する。
- ④ 大規模敷地を生かして、滞留性とリピート性の高い持続性のある事業の構築  
ハイウェイオアシス形式の道の駅を先行整備して周辺開発の起爆剤的役割を担う。
- ⑤ 官民協働の事業推進体制による段階的なまちづくり型の整備  
土地購入から建物整備まで長期的な視点による官民の役割分担を明確にする。